

ふくどん

# 福井

福祉情報誌 第100号 2015. 9. 1

編集・発行



社会福祉法人

西原町社会福祉協議会

〒903-0111 沖縄県中頭郡西原町字与那城135番地

TEL 945-3651 FAX 946-6777

URL www.nisya.net E-MAIL nisya@nisya.net

## 田植えで地域わんぱく広場事業 - 津花波自治会 -



津花波自治会では、8月16日に津花波区にある畑にて子ども会を中心に田植え交流を行いました。

この交流会は、子供たちが健やかに育つ環境づくりを行い、温かい人間関係を育むとともに、地域結束力と活性化を図る目的の「地域わんぱく広場事業」の一環で行なわれたものです。

実ったお米は、稲穂ができる12月に収穫し、獲れたてのお米を精米しておにぎりパーティーでいただくことになっています。

目次	地域わんぱく広場事業・・・・・・・・・・	1	はばたきだより・・・・・・・・・・	4
	社協事業・・・・・・・・・・	2	いいあんべー家だより・・・・・・・・・・	5
	福祉団体活動報告・・・・・・・・・・	3	お知らせ・・・・・・・・・・	6

福祉情報紙「福井」は社協会費、赤い羽根共同募金配分金、寄付金等によって作成されています。

「踏みだそう！はじめての一步」  
ボランティア体験学習を開催

西原町社会福祉協議会では、夏休み期間の中・高・大学生を対象に西原中学校27名、西原東中学校34名、西原高校4名(計65名)の参加者のもとボランティア体験学習を開催しました。

体験学習は、福祉学習・ボランティア体験の場を提供することで、社会福祉についての理解を深め、助け合いの精神を育成するとともに学校や地域においてボランティア活動が展開されることを目的としています。

7月22・23・27日は、午前中にオリエンテーション、午後は視覚、聴覚障がいのある当事者から生活についての話と疑似体験(車イス、アイマスク、手話)を行い、生徒からは「パートナーの存在が心強かった」、「自分の名前が手話で表現でき楽しく体験できた。」などの感想がありました。

参加者みんなが一生懸命に福祉について理解しよう、学んだ事をボランティア活動へ活かそうとする様子が伺えました。

※参加者は、8月3日〜8月21日の期間で施設ボランティア体験を行いました。施設ボランティア体験の様子は、次号にてお伝えしますのでお楽しみにしてください。



車イス介助の体験学習



開講式の様子

小学生向け認知症サポーター養成講座を開催！

8月3日(月)、西原町学童保育連絡協議会に加盟する10学童に通う児童と指導員、計357人を対象に、小学生向け認知症サポーター養成講座を開催しました。

認知症の理解・対応・支援等について講師の安富祖歩美さんがイラストや紙芝居でわかりやすく説明した後、浦添市キャラバンメイト連絡協議会「劇団 認知症になっても大丈夫！」(代表 与那覇涼)の皆さんと学童支援員による「物とられ」と「物忘れ」の寸劇が行われました。

参加者は認知症の人への良い対応や間違った対応などを学ぶことができ、認知症の人やその家族を地域で見守る認知症サポーター357人が新たに誕生しました。

この講座は沖縄県地域支え合い体制づくり事業の一環で行っております。

講座開催希望・問い合わせは左記連絡先までお願いいたします。  
電話 945・3651(担当 山田)



多くの児童が参加しました



認知症についての講話の様子



ユーモアを交えた認知症対応の寸劇

# 施設の思いと力に感動！

第一民生委員・児童委員協議会

第一民生協は、研修の機会を多くつくり民生委員児童委員の知識を深めることに努めており、7月17日に今年2回目の県内研修を行いました。

今回は、障がい児・者の支援をテーマに、児童に関する二つの施設と身体障がい者に関連する施設を見学しました。

まず訪ねた「沖縄中部療育医療センター（定員80名）」は、重症の心身障がい児を入所させ介護と養育そして医療の支援を行うとともに、地域に開かれた病院機能も持つ施設です。看護師長の丁寧な案内を頂きながら、生命の維持を優先する看護や設備、子どもに残っている能力を維持し、できる限り向上させるためのリハビリテーションの様子などを見聞しました。

また、子どもの生活の質を高めるために、日中の活動にも創意工夫しているとのこと、その一つとして大広間で音楽を用いた指導を行っていました。軽快な音楽に合わせて、硬直やマヒのある手足や体全体を使って楽しそうにリズムに乗ろうとする子どもたちの姿に、生きる力の素晴らしさを見、感動しました。子どもたちの教育の保障の

ため隣接する泡瀬特別支援学校に通学させるご苦労もあり、あらゆる面で支援する職員のご苦労を知ることができました。

同センターは、この他に通園させて療育を行う二つの事業所（子ども、大人）、シヨートス（子ども、大人）、シヨートス生活を支える療育支援事業所などを経営しており、福祉・医療サービスの総合的な機能を沖縄市や近郊市町村に提供していることを学びました。

次の「株佐喜真義肢」は、障がい児・者等の生活の質を高める補装具を制作する施設で、金武町にあります。昼の休憩時間のため、職員の補装具製作工程の見学はできなかったが、制作



佐喜真義肢にて民生委員の集合写真

機器、ライン、最新の装置の導入などの説明を受けました。同社は「患者さまの笑顔と可能性のために真心を込めた『ものづくり』」をモットーに新製品の開発にも積極的で、肘、膝関節障害に対する「CBブレース」を開発しており、これを国際的にも広げたいとのことでした。社長の指導のもと同製品の試着体験もでき、体験者は膝の負担の軽減、装具の軽さなどに驚きました。

最後に、隣にある「発達支援センターぎんばるの海」を訪ねました。落ちつかない・思うように体を動かせない・生活習慣が身につかないなど発達が気になる子どもを通園させ、室内や室外で療育・訓練を行い発達を支援する施設です。併せて放課後等デイサービス事業も行っています。

室内三カ所の広い訓練室や、個別に感覚運動を繰り返し訓練するためのトランポリン、ブランコ、ボードなどの遊具、集団指導で力を入れているマリンスポーツ機材などを見聞しました。また、動き回る子どもにも職員がつかず離れずの指導をしており、根気のいる指導の一端が学べました。各施設の支援に対する思いと取組を学んだ一日でした。

# 福祉マップ作成で地域支援

上原地域福祉推進会

上原自治会では、8月5日に地域福祉推進会にて「福祉マップ」を作成しました。これは、西原町社協で実施している「地域ちゆいたしきだしき事業」の一環で独り暮らしや寝たきりの高齢者、障害者世帯などが地域の中で孤立することなく、安心して生活できるよう地域住民による支え合い・助け合い活動を展開し、併せて地域における福祉の啓発と住みよい福祉の町づくりを目的としています。

この日は、自治会長を中心に民生委員の皆さんが上原地域の地図を用意し、その地図に要援護者世帯を印付けし、その世帯に関する台帳を整備しました。

世帯数が多い上原区は、19班に分かれて1班ごとに1件1件丁寧に作業を進めましたが、すべての作業を終えることができませんでした。残り半分のマップ作りは、次回改めて実施します。



# はばたき だより

## センターをキレイに清掃班！

私たち清掃班は、月々金曜日の9時～16時までセンター内の清掃を頑張っています。清掃班の主な作業内容は、毎日のトイレ掃除、ロビーの廊下の掃き掃除、各部屋の掃除、色々な作業に取り組んでいます。作業に入る前のミーティングでは指導員と利用者でセンターを利用する人達の事を考えながら清掃業務に取り組みますと話合っています。そこで窓拭きの時でもどのようにしたらホコリや汚れが取れるのか、ロビー廊下のソファ拭きの場合でもホコリを落とすにはどのような拭き方がいいのかなど、拭き残さないか指導員と確認しながら作業を行います。その他の清掃の時



- 名称  
社会福祉法人西原町社会福祉協議会  
サポートセンターはばたき
- 営業日  
毎週月曜日～金曜日  
(土・日・祝日は休み)
- 開所時間  
8:30～17:15
- 利用提供時間  
9:00～16:00
- 〒903-0111  
西原町字与那城135  
(社会福祉センター隣)  
(電話) 945-3651  
(FAX) 946-6777



清掃班の皆さん

も一緒に、どのように作業を進めたらキレイになるか、センターを利用する方々の気持ちになって清掃業務に努めています。また、サポートセンターはばたきでは、利用者余暇活動や利用者研修、調理実習等の行事にも取り組みんでいます。その中で清掃班は、5月に調理実習を行い、利用者一人ひとりがメンバーと協力しながら自分の役割を全うしていただきました。笑顔も多くみられ、料理をすることの楽しさ、みんなで協力して同じ目的に向かって頑張る事の大切さを改めて実感できたのではないかと思います。清掃班は、これからもセンターを利用する人々の事を考えながら清掃業務に取り組んでいきたいと思えます。清掃班は1つのチームとして仲間を思いやる気持ちを持ってこれからも頑張っていきたいと思います。ぜひ清掃班メンバーを見かけましたら温かいお声かけをいただけるとメンバーの励みになります。皆様これからも清掃班をよろしくお願いします。



### はばたき専用電話のお知らせ

お中元、お米、パイの注文はこちらの番号にお電話ください！  
TEL:070-5274-1839  
(はばたき直通)  
営業：8:30～17:15  
(土日祝日を除く)

詳しくはサポートセンターはばたきの「はばたきブログ」をcheck!!  
<http://habataki.t-da.net/>



感謝です！

サポートセンターはばたきのお中元ギフト商品を多くの方にご利用いただきまして誠にありがとうございました。利用者一同大変喜んでおります。また、お中元ギフトのPRを兼ねて西原町内で商品のPR、チラシ配布等を実施させて頂きました。ご協力いただきました地域の皆様大変ありがとうございました。今後も利用者共々、日々の活動を頑張りますので、サポートセンターはばたきを宜しくお願いいたします。なお商品の売上は利用者の工賃へと還元されています。

お中元のお買い上げありがとうございます！





開館日：毎週月曜日～土曜日【日・祝日・年末年始休館】  
 時間：9時～17時15分  
 対象者：西原町在住・在勤の40歳以上の方  
 利用料：100円【マッサージ器具などを利用できます】  
 場所：西原町字与那城135番地（中央公民館隣）  
 電話：098-946-1734  
 ※利用時に介助が必要な方は介助者の同伴をお願い致します。

# いあんべー家 だより

募集

## じんぶん教室



最近、もの忘れが気になる方、もの忘れを予防したい方へお勤めの教室を開催します。西原町では認知症で介護認定を受ける方が増えてきています。これを機会に予防してみませんか。

内容：体と頭を使った運動や机上でのもの作り・脳トレーニングを行います。体力・脳力測定も実施して教室前後で変化もみることが出来ます。

期間：平成27年10月21日～平成28年2月3日

日程：全14回 毎週水曜日（祝日は休み）

時間：14時～16時（2時間）

持ち物：・運動しやすい服装  
・室内シューズ  
・水分補給用の飲み物

場所：西原町いあんべー家（中央公民館となり）

定員：20名以内  
※先着順  
※タクシー送迎要相談

対象：①西原町在住65歳以上の方  
（要介護と認定された方はご遠慮下さい）  
②運動制限のない方

受講料：無料

受付：西原町いあんべー家窓口にて直接申し込み  
※申し込み用紙・問診表 各1枚（必須）  
※かかりつけ医の意見書  
（または検診・人間ドッグの結果でも可）  
を依頼する場合があります

※申し込みの際は、**ご本人の印鑑**をお持ち下さい。



Let's

## がんじゆうポデイ 目指そう健康長寿

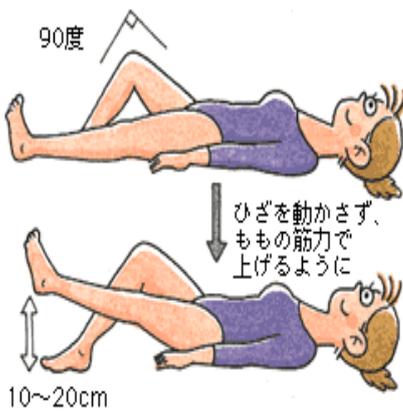
Part3

### 膝痛予防

### 筋トシ運動

40代は膝痛の境目

40代より太ももの前側筋力が衰えて膝痛が出現してきます。そのまま放っておくと、変形性の関節症になる方もいます。今回はその膝痛予防運動を紹介します。



横になって片脚の膝を立てます。片膝を立てるのは、腰への負担を防止するためなので、気を付けましょう。伸ばしている方の足を10～20cm挙げて、ゆっくゆっく5秒数えます。両足交互に10回繰り返します。

軽く曲げた両膝の間にボールや座布団をはさみ、力を入れてゆっくゆっく5秒数えます。これを10回繰り返します。膝の内側が痛む場合は、膝に当たらないようにボールを太ももの方へずらしましょう。



痛みがある人は入浴後に行うと、楽に取り組めます。また水中内での運動やウォーキングは、水の浮力で膝への負担が減るのでお勧めです。ただし、冷えが残らないように、終わった後は体を温めましょう。膝のサポーターや足底板（インソール）等は、種類や用途が様々あるので、専門家に相談下さい。



～地域の子どもたちに愛の目を～

幼い子どもが父親から虐待を受けて死亡した、という報道が最近ありました。町民の皆様も痛ましい思いでその報道を見たことでしょうか。虐待を受けながらも親を慕っていたであろうその子の必死な顔、悲しい目を想像すると涙がでます。

全国でも、沖縄県内でも、多くの子どもたちが児童虐待によって傷つき、健全な成長や発達が妨げられ、悲しいことに尊い命さえ奪われています。虐待は、きわめて重大な人権侵害なのです。

このような悲惨な状況になる前の、親にかまってもらえずに惨めな思いをしている子どもや、親からたびたび暴行を受けている子どもは、西原町内にもいるかも知れないのです。そして、その子の親は、それが虐待であることに気づかないか、あるいは愛情からのしつけなどと思っているかも知れないのです。

そこで、町民の皆様には児童委員（民生委員でもあります。主任児童委員もいます。）からお願いがあります。

子どもを守るためには、地域での早期発見が大事です。あなたの近くに虐待を受けていると思われる子はいませんか。たとえば、たびたび夫婦の言い争う声や子どもの泣き声が聞こえる・・・「おかしい」、子どもが不潔で痩せている・・・「何か変だ」などと気づかれることはありませんか。

どんな小さなことでも遠慮無く、皆様の身近にいる児童委員にお知らせ下さい。私たちは、町や児童相談所などに協力して児童虐待の予防や対応に関わっています。法律で秘密を守る義務が課せられていますので、プライバシーは必ず守ります。

子どもたちのSOS（状況や様子の変化）に気づいて下さい。皆さんの愛の心と愛の目で、子どもたちを児童虐待から守って下さい。

地域社会から児童虐待を無くしましょう。ご協力をお願いします。



西原町民生委員児童委員協議会



いち はやく 189番へ

児童相談所 全国共通ダイヤル

※一部の携帯電話からはつながりません。※通話料がかかります。

虐待かもと思ったら いちはやく 189番へ

189番にかけるとお近くの児童相談所につながります。

祝 福井100号

町民の皆様には読みやすい親しまれる広報紙を目指し、毎月発行している福祉情報誌「福井」が今月号で第100号を迎えることになりました。これも偏に、町民をはじめ関係機関、福祉団体のご協力のおかげだと深く感謝しています。これからも皆様にご愛読いただけるような紙面づくりに努めますのでどうぞよろしく願います。



御芳志 御芳志がありましたので、紙面にて紹介し深く感謝申し上げます。

- ◆一般寄付◆
  - ・三和金属株式会社（代表取締役社長 具志堅一真）様より10万円
  - ・株式会社石川酒造場（代表取締役社長 仲松政治）様より10万円
- ◆物品・野菜寄贈◆
  - ・小波津盛光様

